

令和４年度

小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会

(第２回)

日 時 令和４年１１月２２日（火）

午前１０時００分から

場 所 小牧市役所 本庁舎 ３階３０１会議室

令和４年度第２回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会

日 時		令和4年11月22日（火）午前10時
場 所		小牧市役所本庁舎 3階301会議室
学識経験者	愛知文教大学 特任教授	副島 孝
教育関係者	小牧市教育委員会 教育委員	伊藤 和子
	小牧市小中学校校長会 代表	中川 裕子
	小牧小学校 校長	岩瀬 将之
	三ツ渕小学校 教頭	西澤 克美
	小牧小学校 学校地域コーディネーター	佐橋 明味
	篠岡小学校 学校地域コーディネーター	渡邊 祐子
	小牧原小学校 学校地域コーディネーター	坪内 里枝
児童福祉関係者	小牧市社会福祉協議会 代表	山田 好広
	三ツ渕児童クラブ 所長	近藤 明美
	味岡児童クラブ 所長	竹脇 一美
	光ヶ丘児童クラブ 所長	柿本 美津江
	味岡児童館 館長	野地 優香理
地域住民	小牧原小学校 P T A母親代表	森 真樹
	光ヶ丘小学校 P T A母親代表	中島 亜子

総合プラン運営委員会

【事務局】

皆様おはようございます。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいまより、令和4年度第2回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会を開催させていただきます。

私は本日の司会を担当いたします、こども政策課長の伊藤と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

それでは初めに資料の確認をさせていただきます。

以前配付させていただきました資料として、次第が1枚、資料の1 事業実施報告書（案）、資料2 放課後子ども総合プラン活動記録、資料の3 合同の体験活動に関するアンケート、資料4 講師活用一覧、となります。

よろしかったでしょうか。

ありがとうございます。

なお、資料2 総合プラン活動記録につきましては、参加児童の顔写真を添付しておりますので、ホームページへ公開する際に、写真をカットして公開させていただきます。また、資料4、総合プランの講師活用につきましては内部資料として事務局で作成させていただきました。

委員の皆様につきましては、資料の取扱いに注意していただきますようお願いいたします。
また、本日は傍聴の申込みはございません。

また会議の定足数につきましては、要綱第5条第2項の規定により、委員の過半数以上の出席が必要とされておりますが、本日は欠席はなく、15名の方全員出席されております。

会議として成立することをご報告させていただきます。

それでは、初めに、こども未来部次長の川尻より御挨拶申し上げます。

【川尻次長】

おはようございます。

こども未来部次長の川尻と申します。本日は、部長が、急遽、別の会議が入りまして、私のほうから御挨拶させていただきます。

今日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

小牧市放課後子ども総合プランにつきましては、今年度は新たに4校を加え、6校で実施がされております。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、合同の体験活動の様子を御確認いただきましてありがとうございます。

私も、小牧原小学校と篠岡小学校のほうを見させていただきました。たいへん子供さんたちが、楽しそうに活動されていて、非常にいい活動だなと思いました。

本日は、今年度実施いたしました、合同の体験活動の報告やアンケート結果について、御説明させていただき、御意見や、評価をいただくことで、来年度、令和5年度以降の活動につなげていきたいと考えておりますので、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。
以上で私からの挨拶とさせていただきます。

【事務局】

それではこれからの進行につきましては、副島委員長にお願いいたします。

【副島委員長】

おはようございます。

ここからの進行については私のほうでさせていただきます。

お手元の次第に基づいて、会議を進めたいと思いますが、まず、1番の合同の体験活動報告及びアンケート結果について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、資料1をごらんください。

この資料は、小牧市放課後子ども総合プランの事業報告書として、令和4年度の活動をまとめたものとして作成しました。1ページ、2ページをごらんください。

合同の体験活動の実施状況ですが6校の実施日、参加人数、実施内容をまとめてあります。★印のものが本格的な活動となっています。この表にあるように、各校、放課後子ども教室と児童クラブ従事者が相談し合って、内容を決めていただきました。お互いのアイデアを出し合って内容を決めたり、講師さんを探したり、人数を決めたりしてきました。どの活動も子どもたちが楽しんで参加できるような内容で、あきないような工夫があります。放課後子ども教室と児童クラブ従事者が話し合い、連携をとって進んできています。出てきた課題についても、お互いに話し合って課題を解決しながら、次の活動に生かしてきています。

それぞれの活動時の様子は、別冊のカラー刷り、資料2の、放課後子ども総合プラン活動記録にまとめてありますのでご覧ください。いくつか見学させていただいた中から私の方で記録させていただいています。

1ページ目からごらんください。

①小牧小学校の合同体験です。「ユニットこま」次のページに「パステル画」です。「パステル画」では、講師の先生をお招きしてパステルを使って、指で色をぬったり、型を使って絵を描いたりして、しおりを作りました。一斉に説明をする部分と、細かい作業ではグループに分けて説明をする部分という工夫があり、子どもたちは、すぐ作品作りにとりかかりました。ラミネートも機械を使わないものなので、その場でしおりを完成させることができました。前面のホワイトボードに「放課後子ども総合プラン」という手作りのB紙の掲示もあり、プランの合同活動だという意識づけになっていました。

②三ツ淵小学校の合同体験です。「忍者ランド」「ランプシェード」「工作パフォーマンス」です。「ランプシェード」は、図書室で、ランプシェードのキットを使っての作成です。放課後子ども教室のコーディネーターが作り方を説明し、作成していました。事前に風船をふくらませて紙コップにくっつけてあり、ボンド、はっていき紙なども準備し、子どもたちが風船の上に紙を重ねてはっていき、模様もつけて、乾かします。完成は、次回となったようです。3つ目は、体育館で「工作のパフォーマンス」です。工作太郎さんを講師にお招きして、紙や段ボールで作ったものを見せてもらったり、大きい絵でロゴマークの成り立ちを見たり、段ボールで作ったアンパンマン（あげぱんまん）の頭をかえるゲームをしたりして、楽しく参加していました。

③味岡小学校の合同体験です。1つ目は、体育館で「積み木遊び」です。講師の先生をお招きして、紙芝居、積み木のシャワーの後、好きなものを作りました。1万個の積み木なので、長いものや高さのあるものなどを作って、自由に楽しく活動していました。2つ目は、「忍者ランド」です。講師の先生をお招きして「蜘蛛の巣」「しゅりけん」など8つのコーナーで、おもいっきり走ったり、ジャンプしたりして楽しく活動を行いました。

④篠岡小学校の合同体験です。1つ目は、牛乳パックで作るパズルボックス。コーディネーターさんの説明で、パズルを作りました。実物を見せての説明とわかりやすい説明書もあり、作品作りがスムーズにできるようにしていました。2つ目は、「大道芸」です。講師のオーバートーンというお二人を招き、楽器の演奏、ジャグリング、走るピアノ演奏などのパフォーマンスをテンポよく見せてもらいました。皿回しなど一部児童が参加するものもあり、終始子どもたちは、引き込まれ楽しい時間を過ごしていました。講師さんから、他の学校でもぜひ、よんでいただきたいというお声もありました。

⑤小牧原小の合同体験です。1つ目は、体育館で「忍者ランド」です。安全管理指導員さんが、ルール説明などをして、先ほどの味岡小と同じように楽しく活動しました。とても暑い日になってしまったので、熱中症対策をとって実施しました。2つ目は、「バルーンアート」です。講師の先生をお招きして、動物やトトロなどのキャラクターを作る様子を見て、その後、自分たちもバルーンで「ミニオン」を作りました。パフォーマンスも食い入るように見て興味津々でしたし、自分たちが作る時には、さらにテンションも上がり、楽しく活動していました。

⑥光ヶ丘小の合同体験です。講師の先生をお招きして「切り絵講座」です。折り紙を何回か重

ねて折っているような形で切り取り、開くと素敵な模様ができるというものです。できた作品をクリアファイルにはさんで、大事に持って帰りました。この講座は、次に行く「万華鏡」作りにつながる内容となっているそうです。この経験を生かして「万華鏡」作りを行います。

それぞれの学校で、はじめのあいさつ、終わりのあいさつ、会場への出入り、準備や片付けも両方の担当者が話し合っ分担して行っていました。

講師さんを活用した体験活動は、打ち合わせの段階で、小牧市内の他の学校でも実施してもらえるかを確認してもらっていますので、講師一覧を蓄積したものを各学校に配布し、活用してもらえるといいと思っています。資料4として、講師一覧をお配りしましたので、ご覧ください。参考として、放課後子ども教室の講師一覧ものせてあります。このように、今まで放課後子ども教室で活用していた講師さんに加え、新たな講師さんも発掘していただき、どんどんこの蓄積は増えてきています。みんなで共有していきたいと思っています。また、今回、講師さんに依頼するときに、内容はお任せしますが、参加する場面を作ることや時間配分についてもこちらの要望を伝えることを、どの学校にもしていただきました。子どもの実態を知っている放課後子ども教室や児童クラブの従事者が子どもの実態を踏まえて要望していくことは、とても大切なので、今後も続けていけるといいなと思っています。

資料1の2ページにお戻りください。

(2) 関係者アンケートですが、10月、11月に、児童、保護者、従事者に対して、合同の体験活動に関するアンケートを行いました。

各学校、1回または2回のアンケート実施です。2回目のアンケート実施が、本日のこの運営委員会より後の学校については、3回目のプラン運営委員会で、結果を報告させていただきます。小牧小学校の12/1の音楽鑑賞、味噌小学校の12/15のミニコンサート、光ヶ丘小の11/17の万華鏡作りは、本格的な活動となっていますので、アンケートを実施し、3回目の運営委員会で報告します。

児童と従事者のアンケートは、本日の活動について問う項目があるので、その都度アンケートをとりますが、保護者アンケートは、どの学校も1回のみ実施し、9月上旬から10月上旬に、児童クラブは合同の体験活動の対象学年である登録児童がいる家庭に郵送し、放課後子ども教室は児童アンケートを実施した日に登録家庭に配布しました。

それぞれの回収数は表のとおりです。

アンケート結果は、資料3にまとめてありますので、そちらをご覧ください。

各学校ごとに児童用、保護者用、従事者用の順にとじてあります。2回実施した学校は、2回とも入っています。1校ずつの結果をここで読み上げることは控えさせていただき、結果の総括についてお話をさせていただきますので、よろしくお願いします。5ページをご覧ください。

① アンケートを実施したすべての活動で、「楽しかった」と回答した児童が「楽しくなかった」「どちらでもない」と回答した児童より多くいました。資料3も合わせてみてください。どの学校の児童用を見ていただいても、「楽しかった」と回答した児童が多いことがわかります。

② 児童によって、活動の時間が「長い」か「ちょうどよい」か「短い」かは、感じ方がそれぞれだが、おおむね、「楽しい」と回答した児童は、「ちょうどよい」と回答した児童が多いという傾向でした。

③ 児童の多くが「楽しかった」と回答した活動でも、「短かった」と回答した児童はそれほど多くなく、児童にとって概ね1時間が限界と考えられます。

④ 児童が今後やってみたい活動は、どの学校でも工作が一番多く、次に音楽鑑賞、ダンス、プログラミングやパソコンが多く、保護者も概ね同様でした。また、自由記述では、運動（体を動かす遊び）を希望するものがたいへん多く、コロナ禍で、あまり運動ができなかったことがうかがわれました。

⑤ 放課後子ども総合プランの活動の回数を現状と同程度がよいと回答した保護者と、もっと多い方がよいと回答した保護者は概ね同程度でした。児童は、何回もやりたい児童が、たまにやりたい児童より多く、同一校で活動が違えば、何回もやりたいか、たまにやりたいかの回

答が逆になる場合もありました。こちらアンケートの方を見てください。保護者の回答を見ていきます。小牧小の質問4のその他の部分です。「全員の子が毎回参加できるわけではなく、数人ずつとなっているので、回数はもっと増やして」や「児童クラブをお休みする曜日と合同活動の曜日が重なって参加できないことがあるから曜日は変更になるといい」など増えることを期待している声があります。

味岡小の保護者アンケートを見てください。質問4のその他です。「放課後子ども教室に来ている友達と遊べるのが新鮮でうれしかった」「子どもをより楽しませてもらえるように考えてくれてありがたい」「児童クラブだけではなお活動がたまにあると子どもの刺激になり、次の開催をより楽しみにする」などの声もあり、良かったと思う反面、その下には「合同だとぐちゃぐちゃするし、知らない子も多いのであまり楽しくない」という気持ちの方もいます。いろんな子と関われる良さも味わえるといいかなとは思いますが。

篠岡小の保護者アンケートを見てください。今後の児童数の減少をふまえ、新しい視野を身に着けるため、とか、全学年が参加できるようになどの意見や、合同活動だと、普段遊べない子と遊べるので回数を増やしてほしいなどの意見があります。ただ、コロナ禍という状況をふまえてというご意見です。

小牧原の保護者アンケートを見てください。「子どもを預かっていただいているだけで大変ありがたいので、先生方の負担増にならない程度にすすめてほしい」「総合プランに参加するのはうれしいが、児童クラブの中で参加できる子とできない子がいるようで、先生方が気をつかわれているようなので」という従事者をおもいやったの意見もありました。

光ヶ丘小の保護者アンケートを見てください。「学年の制限なく高学年になっても参加できると嬉しい」という意見や「メリットは何ですか」というご意見もあります。この総合プランは始まったところなので、何年もかけて、保護者にも浸透していくのだと思います。保護者向けの手紙や、子どもを通じて活動の様子が伝わっていくといいなと思います。

⑥ 普段の活動と比べて準備が「変わらない」と回答した従事者が、「大変」と回答した従事者より、やや多くなりました。講師の活用がある場合に、準備の大変さが軽減されたようです。

では、また5ページにもどってください。

⑦ 意義があるかという問いに対して、「とてもある」「ある程度」と回答した従事者が多く、理由として、「いつもと違うメンバーで活動する」「ふだんできない体験活動ができる」が、多く記述されていました。では、資料3のアンケートで従事者の回答をみていきたいと思います。

小牧小の従事者アンケートを見てください。質問5です。2つ目の・「何を目的としているのかわからないので・・・」という声もありますが、「お互いに刺激があり、先生の話をちゃんと聞いて楽しく活動している姿がたくさんお互いに見られた」右側の児童クラブの欄の方も見ていただくと「ふだんできないことを体験することは大事」「人数制限がなく、みんなが体験できるともっとよいのかも」「いろいろな体験ができるから、とても意義がある」という声がある一方で「人数制限があるため、児童クラブの指導者を分けなければならないことで不合理」だとの声もありました。

三ツ瀧小の従事者のアンケートを見てください。質問5を見てください。そこに書かれているように、三ツ瀧小は、放課後子ども教室は高学年が参加、児童クラブの参加をそれに合わせると4名なので、実質放課後子ども教室の活動とあまりかわらないという意見です。合同だとふだんよべない講師が呼べるとか、ふだんできないこともやれるなどの良さをいかしつつ、参加学年の検討も必要かもしれませんね。

味岡小の従事者のアンケートを見てください。「楽しく交流できた。」「人数が多いとその分、配慮の気持ちや他人の行動を見て新たに発見する機会が増える」右の欄にも「みんな夢中で楽しんでいる姿がよかった」「たくさん子どもたちと交流を深めることによって豊かな経験が得られる」など。子どもたちが楽しんでいる姿を見て意義を感じる意見が多々ありました。ただ、左側にあるように「今回は楽しかったけど、人数が増えると活動内容に限りがある」「大人数で参加して盛り上がる企画があればいいが、打ち合わせ等大変な部分が多い」という声もあり、今後の課題も出ています。

何度も話してきていますが、「無理のない範囲で、子どもが楽しめる活動、従事者の方も楽しめるように」ということを頭においていただいて、お互いの知恵をだしあっていけるといいなと思います。

篠岡小の従事者のアンケートを見てください。「子どもたちが、はじめから最後まで楽しんでいた」「生で見るパフォーマンスは、子どもたちにとって有意義なものだし、子どもたちを巻き込んで演技して楽しかった」「音楽を通じ、時間をみんなで共有できた」右の欄も「学校行事のイベントより距離が近くて特別感もあり、よい」「全員が楽しんでいた」など、子どもたちも従事者も楽しかったことがたくさん記入されていました。

小牧原小の従事者のアンケートを見てください。「防災教室」と「バルーンアート」です。「いつもと違うメンバーで楽しんでいた」「防災のことを知る機会となったが内容によってはこじんまり行くとよい」「子どもたちは体験が大好きなので、少しでも多くの子どもたちに体験してもらえるのはうれしい。」右の欄の「日常の児童の生活に新鮮な活動が加わることで嬉しさ楽しさが増える。大勢で話を聞いたり参加することで人とのかわり方やコミュニケーションが学べる・・・」という声もありました。

光ヶ丘小の従事者のアンケートを見てください。「創造力を育てるし、ワクワク感も味わえる」「児童クラブでは体験できないことができる」という声もありますが、一方で「説明が行き届かない。落ち着かない」「意義を持つためには参加のさせ方に工夫が必要」や右側の「こどもたちの能力差があるので、指導は大変」と次回への課題につながる意見もあります。工作系の指導は大人数だと準備や活動も大変という印象のようですが、子どもたちは工作が大好きだというアンケート結果ですので、大人数ならどんな工夫が必要かを考えていくことが大事になってきますね。

では、また、5ページにもどってください。

⑧ 合同の体験活動は、年に1から3回が望ましいと回答した従事者が最も多く、次に年に4から6回が望ましいと回答した従事者が多いという結果でした。

⑨ 気になることの記述については、各学校ごとに、その日の活動について、従事者がいろいろな視点から書いています。ぜひ、みんなで共有して、課題を解決する方へ向けて話し合っていく、次回につながるようにするといいと考えます。

この項目についてもアンケートをご覧ください。

小牧小の「パステル画」質問7です。「楽しんでやっている姿は、私たち指導員にとっても喜びでした。できたら自分も一緒にやってみたかった」「児童クラブの子が全て参加出来たらいい」とのご意見。従事者も参加出来たらいいですね。児童クラブの子の参加の枠をひろげることにしても、全員一斉は難しいかもしれませんが、学年をかえるなどの工夫はできるかもしれないですね。

味岡小の従事者のアンケートを見てください。「やれる企画がきまってしまう」「必要スタッフの人数を見直したい」など次の活動につながる意見がありました。また、「きつい発言をする子がいるが、どこまで立ちいって注意・指導してよいのかわからない。児童クラブの先生方の対応を見て学べる」など、従事者同士の学びあいになっているのはよかったなと思います。

小牧原小の従事者のアンケートを見てください。「バルーンアート」の方ですが、楽しかったが、平等になるように説明しておけばよかったなど、講師との事前の打ち合わせのポイントも見えてきました。

光ヶ丘小の従事者のアンケートにも同じように、「人数が多く、部屋も広いことで講師の先生の指示が伝わりにくかった」「見本を大きく」「ゴミが出ないように」「マイクが必要」など、講師との打ち合わせのポイントやより楽しい活動、より子どもにわかりやすい指示など、次回につながる意見だと思います。また、「子どもは楽しそうだったが、別々に体験した方がもっとスムーズにできたかも」「騒がしすぎた」などの意見もあり、子どもの様子をふまえて、次の活動を組んでいくことが大事だと思います。

いろいろな気づきがあったと思います。どの学校でも、従事者が当事者意識をもって、話し合いをすすめると、「無理のない総合プラン」の実現に向かうことができると思います。

アンケートの総括については以上です。

【副島委員長】

非常にたくさんの資料があるということは、事務局がまとめにものすごい労力をかけているという、裏返しだと思いますので、それもふまえて、皆さん方から御意見をいただきたいと思います。

今の資料1の表で、再確認していきたいので7ページをご覧ください。

導入スケジュールの表があります。この合同の体験活動が始まったのが、昨年、令和3年度からです。その前の令和2年に、国のほうから、児童クラブと、放課後子ども教室を全て一体化する、あるいは、それぞれで行うけど、合同を、年に何回か行う。つまり、できるだけ一体化してやってほしいという方針が、国から出されました。それに対して、予算もつきました。

それを受けて、小牧市は、相談をしてこの会を立ち上げて、「今まで両方いろいろやってきた歴史があるから、それぞれを大事にしましょう」となりました。国の方針で、こういう制度だとなったらそれに従わないと、国の予算はつきません。小牧市独自の予算でやれとか、そのための費用を子供から徴収するとか、そういう形でないとやれない形になるから、一番現実的なことをやりましょうということで、「年に何回か合同の体験活動をやるという形で、一体化してやっています」という形になったという経緯です。

だから、「合同なんかやらなくてもいいじゃないか」というのは、また、ちゃぶ台返しで、元へ戻して、小牧市の予算あるいは子どもから集めた金でやりましょうっていうのに戻るならいいですが、それは無理です。「年に数回合同の体験活動を行うことは、大前提」です。

全校いっぺんには難しいから、少しずつふやして、だんだんノウハウを持ち寄りながらやってきましょうということで、最初の年はモデル校2校で始めました。今年は6校になりました。来年は12校で実施し、再来年は16校つまり全校でやりましょうという形になってきました。今年や来年の議論というのは、こうやってだんだん増やしてきて、どういう問題点があつてどうしたら、解決できるかなとか、こういうことがあるのなら、前もってこういうことを、考えて、子どもたちに参加してもらおうようなことをやらないとね、という、ノウハウを共有していこうという年です。

ですから何か新たなことをここで決めていこうということではなく、次どうしたら、うまく全校がやれるようになっていくのかが、今の、（今年、来年の）この会の目標になっていますので、それを頭に置きながら、いろんな議論をしていきたいと思っています。

去年に比べると、ある意味では一気に増えました。2校のときは、モデル校でやってるほうが特別だねという感じがありましたが、もう、6校になり、来年から加わる学校が、また今年と同じ数だけ新たに入ってきて特別感はないですね。

新しく始めるところは、非常に不安ですよ。そういうときに今までの、経験のあるところが、1年やってきて、こんなことがわかってるから、そんなに心配することはないよと言ってあげられるといいですね。でも、気をつけた方がいいことはあるよねという話ができるようにもっていききたいと思います。そういう意味で、感じられたことなどを出し合っていただきたいと思います。この会の議論の前提みたいなものを確認していききたいと思います。話しました。

アンケートや放課後子ども総合プランの実施報告書というのは、今回これが、これ完成ではなく、もう1回会議があり、そこで完成なので、その前のたたき台です。

ですから、書き方や、問題点など、みんなに参考になるような意見もどんどん出していきたいです。書いてあることだと、なかなか伝わりにくいこともあるかもしれないですね。やってみたとところから、いろんな意見をいただいて、ほかの学校も参考にできることがあれば、ぜひ出していきたいなあと思います。

やってみて、アンケートにこう書いてあるけど、実際にはこうだね、こういう感じだったというようなことを言ってもらえると、ありがたいなと思います。

子どものアンケートは、本当の声、そのときの雰囲気が出るかということ、また難しいところもあるかもしれないけど、現場で経験した方が、補足していただけるとありがたいなと思います。

【三ツ瀧小児童クラブ 近藤委員】

児童クラブの支援員と、放課後子ども教室の、コーディネーターさん・スタッフの方との連絡が1番大事だと思います。

何人来るかとか、購入するものなど、ラインを使って一生懸命意思の疎通をしています。

アンケートにもありましたが、児童クラブからの参加が、本当に少なく、ほとんどがもう、放課後に入っています。今、この時期は、ちょうど加入申込みなので、クラブサイドのことで申し訳ないですが、手薄になってしまうと、難しいなと思います。

児童クラブの代表だけが総合プランに出るという形だと、ほかの支援員さんたちも、何をやっているのかわからないので、支援員さんが交代で参加して、プランの活動に出るようには心がけています。

子どもたちはすごく喜んで、作品を持って帰ってくるので、その作品を見て低学年の子もやりたかったと言うので、4～6年だけではなく、低学年の子たちも一緒にやればいいなと思います、何度か放課後子ども教室の方にお伝えしていますが、全体で指導するには、なかなか厳しいと思います。なので、その残った材料をもらってきて、児童クラブで、低学年の子に教えています。

【味岡小児童クラブ 竹脇委員】

1年生、2年生が対象で、大人数の児童クラブです。

この時期が1番大変で入会募集の受付と重なってしまうということが一つのネックだなと感じました。通例として木曜日開催になっていますが、授業時間が変わってきて、木曜日3年生以上がほとんど6時間なので、授業があります。放課後子ども教室は、3時ぐらいから開催をされますので、3年生以上が参加出来ない状態です。

本格的な活動で、講師の先生がたくさん受入れてくれるようなお話をいただきましたので、全員参加できたらと思っていましたが、授業が終わってから、後追いで3年生以上を参加させて、体育館の後ろの方にでもすわらせようかと思っています。曜日についても、コーディネーターさんと話ができればいいなと思っています。どんどん子どもたちが喜ぶ活動を、コーディネーターさんと話し合いながら続けていければいいなと思っています。

【光ヶ丘小児童クラブ 柿本委員】

先日、切り絵、万華鏡講座を行いました。アンケートに書いてあるとおり、対象が1年から3年なので、はさみの使い方が、まだ、上手じゃない子たちもいて、能力の差がありました。なので、私たち指導員が一生懸命教えました。

先ほど写真もありましたが、できあがったものを、子どもたちみんな、喜んでいました。すごくきれいな模様ができて、クリアファイルに挟んだら、さらにきれいになって、みんな喜んでいました。

私たちが事前に打ち合わせするときに、相談が、そこまで及んでいなかったものですから、ごみがたくさんできて、それがきれいな折り紙のごみだったので、子どもたちが喜んでしまいました。紙をさわったり持ち上げたりして楽しんで遊んでしまいました。うまく指導するのが難しく、最後は、本当にもう、すごく喜んでしまって、それをまた、子供たちで片づけましたが、ほうきで掃いたりちりとりで取ったりという作業も、遊びの一部というふうになってしまって、時間がずるずると延びてしまい、これが、反省です。

その反省を生かして、次の回では、切りくずを入れるために紙の箱をつくったり、先生の声が聞こえるようにマイクを使ったりしました。万華鏡も、講師さんに、最初申し込んだとき、ビー玉など材料が1人500円なので、駄目だと思っていたところ、講師さんの御好意で、材料費込みで3万円にいただきました。

この予定が、10月13日と11月17日になってしまって、児童クラブとして、忙しい時期でした。何かお手伝いしたくても、前もって、万華鏡のつくり方も教えてもらう予定でしたが、ばたばたしてしまって、きちんと出来なくて、なかなか思っていたように、出来なかったという反省があります。

この実施した二日とも、子どもが、一斉下校の日だったので、欠席の子が出て、材料費などがもったいないので、募ったら多くの子が行きたがり、ジャンケンで決めたので、本当に参加

したい子がたくさんいたのに、かわいそうなことをしたなあと思いました。その外れた子は、その時間、児童クラブで勉強していたわけですから、人数制限がないほうがうれしいと思います。そうすると、指導する人もまた、スタッフが足りないので、どうしたらいいのかなど、いろいろ反省もいっぱいありました。

【副島委員長】

やってみてわかったということですね。

【小牧小 佐橋委員】

小牧小学校は先ほどお話があったようにモデル校として、先行して実施をさせていただいたので、いつも講師を選ぶところで少し迷うことはありましたが、今年度は少し自分たちで講師の方のアイデアをいただきながら、できるものをやってみようという形で取り組んでいます。

資料1の1ページの実施日のところに、12月1日と2月21日の間に1月26日木曜日にも実施予定が入っています。

私たちは、学校の予定を見て、放課後子ども教室の予定を決めています。学校の行事、子どもたちの下校時刻、学校や体育館での会議と重ならないかで、決めた中で総合プランの日にちを、児童クラブの先生とお話しして決めています。小牧の場合は、児童クラブの先生は、「いつでもいいよって決めてくれたらいいよ、何人にするか、もう決めてくれればいいよ」という感じで、わりとこちらが決めさせていただいてお答えするっていう打合せの仕方です。たまたま今年度は11月に活動がなくて12月も音楽鑑賞という形で、お互いに、そんなにこの時期に準備をすることがなかったんですが、先ほどの「児童クラブがこの時期忙しい」ということも情報共有をしていただいたら、日程を決めるときに、そこを避けることもできるかなと思います。

内容については、コロナ禍もあって、材料もある程度、準備するので人数を限らせていただいて、何年生の中から何人とか、「全員でいいよ」と言っても、お迎えが早い子は連れていけないから、誰か残しておかなきゃいけないとか、そういうやりくりが大変そうだなと思います。放課後子ども教室の方は、2教室の準備があるので、子供たちがいつも活動してるところに待機させる部屋と、活動の部屋別になるとそちらのほうの作業がちょっと大変ではありますが、取りかかり始める前よりは、同じような活動をしているので、そんなに違和感は減ってきています。

【篠岡小 渡邊委員】

篠岡小は、人数が少ないこともあって、放課後子ども教室の回数は、学校からも言われてまして12、3回ぐらいが限界です。

その中で、総合プランについては、本年度は先生と話し合って、3回が限度かなということで、お言葉に甘えさせていただきまして3回やらせていただいています。

下校時刻が、授業数が増えたためにかわってきて、合同でというのは大変なので、2回は、1年生に絞り込んで活動するようにしています。

工作は、子供たちは、とても喜ぶんですが、やっぱり準備が大変なので、そうやって絞り込むことによって、準備がそれほど大変じゃなくなるので、一応今年はそういう形にしました。しかし、ほかの高学年のお子さんからは、自分たちもやりたいという言葉が出ていますので、それをふまえて、次年度どういう形でやったらみんなが楽しめる活動ができるかなと思っています。

合同の活動につきましてはたまたま地元の方でオーバートーンさんという方がおみえでして、児童館の先生から御紹介いただきました。本来だったら、金額も、10万円程度ですが、小牧に還元していただけたというお話を聞いて、3万円で活動をしていただきましたので、お願いしました。とても子供たちの反応もよくて、楽しい時間が過ごせたと思います。

子ども教室と児童クラブ合わせても、60人ぐらいなので、全学年参加することが出来まして、保護者の方にも声をかけて、参加していただいていた方がいいということでしたので、お声掛けし

て、10人ぐらいの保護者の方にも一緒に見ていただきました。

今、ほとんど放課後子ども教室が主体となって活動しているので、たいへん児童クラブの先生には申し訳ないなと思っています。今のところ良好な関係を保って活動できていると思いますので、お互い負担にならない活動で、長く続けていけたらいいなと思います。話し合いながら、次年度も進めていきたいなと思っています。

【小牧原小 坪内委員】

今年度からということで、昨年は1回だけ、お試しでやって、どんなものかなという形で行ったんですが、いろんな課題を見つけて、今年はそれを受けて進めています。

対象は、低学年ですが、放課後子ども教室のほうは、木曜日は、クラブ活動、委員会があつてなかなか、借りる場所がないので、貸していただける場所も限られていて、回数がちょっと少なかったというところからいろいろ考えてやっています。

今回は4月に、児童クラブの先生と打合せをして、4回で進めさせていただいています。4回もあるということで、全部新しいものをやるのは本当に、自信がなく不安だったので、まず、今コロナ禍なのでということで、安心安全がとても大事だということで考えたものばかりです。体を動かすということが昨年は全く出来なかったもので、運動が多く入っています。

あと、毎年恒例で、防災。防災はやったほうがいいと感じて、組みました。今回は、防災とバルーンアートですが、児童クラブの人数が大変多いと聞いています。全員の子どもが参加できることが1番喜ばしいということですが、コロナ禍なので、体育館で行いました。体育館のほかに図書室をお借りする場合がありますが、図書室だともっと少ない人数でないと難しいなというところがあったので、体育館にしています。

防災については昨年もやっているもので、小牧防災リーダー会の方にお任せしています。大体毎年やっているもので、私もある程度把握できています。バルーンアートの方は、私がその講師の方活動や講座を見に行っていなかったもので、当日まで、中身がわからなくて、講師の方は、「何回もやっているので任せてください」ということだったのですが、実際やってみたら、子どもたちに不公平なこともあったと思います。

風船をいただくことに対しても、一応前半はその方のパフォーマンスで、一部の子に、完成したバルーンを、渡してしまい、それがちょっと偏った渡し方をしたので、子どもに不満もあったんじゃないかなと思います。

この点は、知らなかったもので、私も反省しておりますが、後半は全員に1人ずつ何か作ろうということでバルーンアートを作成しました。かなり人数が多いですが、子どもたちも、私たち指導員も、楽しくやれてすごくよかったなと思います。

とにかく放課後子ども教室の時間は、授業ではないので、子どもがちょっとほっとできる時間ということで、少々姿勢の悪い子もいますが、いいのではないかなと思っています。とにかく安心安全で活動し、楽しく活動できるということを、ベースにやっていきます。子ども教室も15年目ということで、指導員の皆さんもベテランの方が多く、今までのことにプラスアルファで、新しいことをつけ加えてやっていきたいなと思っています。

児童クラブの先生との話し合いも難しいところもありますが、来年度は、いろいろ、協力しながらやっていきたいなということを考えています。

【副島委員長】

いろいろお話を聞くと、やはり、やってみなきゃわからないところがあつて、やると、こういうことなのかということが出てくると思います。いいなあと思ったところ、ほかの学校で、うちもちょっとお願いしようかなということが出てくると思います。

そのときの何を感じたか、何が足りなかったかが、事前に生かされてやれるといいなあと思います。

ほかの委員の方々と、御質問とか御意見とか、感想とかあつたら、ぜひお願いしたいと思います。

【伊藤副委員長】

子どもたちのために一生懸命活動していらっしゃることは重々承知しています。先ほどの色紙で切り絵を作って、その後の片付けで大騒ぎになったというお話がありましたが、私は、それがあっても全然いいと思います。楽しければいい。それがベースだと思いますし、授業でも何でもないので、放課後です。それを見守ってる方は、この後どうなるんだろうって大変だと思いますが、でも私は、すごくそれがいい思い出になるんじゃないかなと思います。

コロナで随分押さえつけられているので、ちょっと発散する場が、必要じゃないかということを感じています。本当に楽しそうに、はさみが切れないのも一生懸命、どうやったら切れるんだろうとやってる姿が、一生懸命努力してるんだなっていうことはわかりました。子どもは、急に大人になるんじゃなくて日々のそういうちょっとしたことや、先生からヒントもらったことなど全てすてきな記憶になって残っていくと思います。

ちょっと壮大ですけど、皆さんのお声掛け一つでその子の人生が変わるかもしれないと思っていただいてもいいぐらいかなと思っています。

だから、少々騒がしかろうが、とにかく事故とかがなければ、私はもう本当に、紙くずでけがするって言ったらちょっと手を切るぐらいで、そんな大したことじゃないと思います。ただ思ったのは紙くずってどうされたんですか？

【柿本委員】

はい、捨てました。

【伊藤副委員長】

私が思ったのは、透明のビニール袋か何か置いて、「ここに切ったのは、入れようね」と言って、それ、輪ゴムか何かでとめるかセロテープか何かとめるかして、ボールみたいにしたら遊べると思うんですよ。すごいきれいなね。ちょっとそこで、一つではなくて次のヒント、といったものも提供し合って、皆さんお知恵があると思うので、また一つ遊びがふえて、楽しいだろうと思いますので、ぜひ、いろいろ模索して、情報交換してやっていただけるといいと思う。

篠岡のオーバートーン。本当に楽しそうで、一体化していましたね。だからぜひ、よその学校にも、勧めします。大人も子供も関係なく楽しめると思いますので、ぜひお勧めです。

すごくお金のかかる講師さんを連れてみえなくても、支援員、安全管理指導員の方たちが、御指導いただけるなら、それでもいいと思います。

皆さんが蓄積したものを、アウトプットしていく。そこで、例えばちょっと失敗だったと思われても、また次に生かしていけばいいわけで、もうすごく前向きにポジティブに考えていただくと、お子さんの幸せにつながるんじゃないかなと思っておりますのでよろしくお願いします。

【山田委員】

ホームページを見ますと、本当に、定期的にきちんと小牧市のホームページで、総合プランのことが、載ってしまして、市民の皆さんにとってわかりやすく、感心しております。ありがとうございます。

先ほど運動系が好きだというお話がありましたが、社協のほうでは、障がい者、障がい児童のスポーツレクリエーションを、先月、アリーナで行いました。ボッチャとか、フリスビーを入れるゲームだとか、簡単なボーリングなど、1時間で100人ぐらいの方にやっていただきましたが、非常に盛り上がりました。低学年の子たちも興味があると思いますので、例えば、市で買っていただいて、それぞれの学校に使っていただけると、ネタを考えなくてもいいかなと思いました。

それからバルーンアートも、今年中学生向けに講習を、講師の方に来ていただいて、行いました。私も覚えて、市民祭りのときは、中学生にいろいろ教えました。1回見れば多分自分たちでやれると思うので、高いお金払ったときに、そのわざを盗んで、自分たちがやれるようになると、次から講師さんをよばなくても、自前でやれると思います。小牧小のパステルアートも、次からは自分たちでやれそうですね。そういうふうに自分が勉強してできるようになれば、講師を探さなくてもできると思います。

【副島委員長】

では、来年度の事業について、事務局から提案をお願いします。

【事務局】

資料1の3ページにお戻りください。

(3) 放課後子ども総合プランの周知・広報としては、市ホームページに掲載、利用登録児童の保護者あてに、令和4年度の事業開始に合わせて案内資料を郵送、学校運営協議会での活動報告を行うことにより実施しました。

(4) 放課後子ども総合プランを推進するための活動として、7月15日に、今年度実施校6校の児童クラブ所長、指導員と放課後子ども教室従事者を対象に情報交換会を行いました。今年度の活動内容、講師、消耗品などについて情報交換をしました。

4ページをお願いします。

令和4年度事業に対する評価で、令和3年度末の「令和4年度の活動に対する提言」を受けて①～④のことについて、それぞれ前段の内容は、令和4年2月におまとめいただきました、「令和4年度の活動に対する提言」となり、矢印以降が、その実施状況です。

①についてです。活動時間としては、45分から1時間程度とし、児童が飽きないように、休憩時間を入れたり、音楽鑑賞では参加できるように手拍子や体を使った表現を取り入れたりして、内容の工夫をしました。やはり、児童がずっと受け身になるのではなく、一緒に活動できる時間が少しでも含まれると、「楽しい」活動となるようです。

②についてです。放課後子ども総合プランの実施校6校の従事者による「情報交換会」を行い、マニュアルに追加・変更する内容についても、意見を聞き、従事者の負担感の軽減につながるよう、加除修正を行いました。また、マニュアルは、実態をふまえて、毎年更新していくこととしました。

③についてです。体験活動の実施にあたって、従事者・講師が打ち合わせを行い、その中で、児童が楽しむことができる内容を考え、話し合い、工夫していきました。時間や、参加できる部分を入れるなどの要望を伝えて、内容を一緒に考えていくという姿勢で取り組んでいただきました。また、1回終えるごとに、従事者が課題等を出し合い、次回へつながるようにしたことが活動の報告書にも記載されていました。今後も、単に児童に体験を与えるのではなく、児童が楽しむことができる内容を従事者・講師が一緒になって考え、工夫することで、従事者・講師が意識を高めていけるといいと思います。

④についてです。令和4年度は、通常の総合プランの講師は、3,000円か5,000円。本格的な活動については、30,000円以内で依頼できています。さらに、講師との打ち合わせの中で、来年度や他の学校でも引き受けてもらえるよう声掛けをしてきました。

次の(2)アンケート結果の総括については、さきほど説明させていただきました。

次に、(3)令和5年度の活動に対する提言です。

今までの活動内容や、先程のアンケート結果等を踏まえて、次年度の活動に対する提言として記載するものです。

① 参加児童について

令和4年度は、基本的に放課後子ども教室参加児童の学年に合わせて、児童クラブの参加人数を決めて、調整している。学校の規模にもよるが、内容や場所を考えて、児童クラブ全員が参加できるものが可能なら、実施していくのもよいのではないかな。

② 従事者について

放課後子ども教室の従事者は、全員が指導・対応する。児童クラブの従事者は、合同の体験活動に参加する児童とクラブに残る児童に分かれるため、放課後子ども教室と児童クラブの従事者で、よく相談しあって、人数等を調整するなど柔軟に対応してはどうか。

③ 従事者について

アンケート結果から、合同の活動に意義を感じていない従事者がいることが見受けられるので、従事者に合同の活動の意義を理解してもらうべきではないかな。

特にこの提言については、今回と次回の第3回委員会においておまとめいただきたいと思います。

ます。今は事務局の案が3つ書いてあるのみですが、実際に活動の様子をご覧になられたときの所感も踏まえ、追加・修正などのご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

資料1の7ページをご覧ください。

(1) 導入スケジュールですが、小牧市放課後子ども総合プランについては、令和3年度の小牧、光ヶ丘小学校2校でのモデル事業に始まり、その評価・検証を踏まえて段階的に実施校を増加することとしており、令和4年度は、三ツ渕、味岡、篠岡、小牧原小学校を加え、6校で実施しています。令和5年度は、さらに、村中、米野、一色、本庄、陶、大城小学校を加え、12校で実施する予定です。全16小学校のうち概ね3分の2の学校で実施することになります。その後、令和6年度からは全校実施を目指します。

次に(2) 運営委員会の開催は、今年度と同様、年3回実施予定です。さらに、1回、評価・検証のために合同の体験活動を視察いただきます。

次に(3) 協議会の開催は、年に1回、放課後子ども総合プラン実施校の学校運営協議会にて放課後子ども総合プランの活動報告を行います。こちらも今年度と同様です。

次に(4) 基本的な実施方針は、小牧市放課後子ども総合プランの実施に関しての基本的な内容です。

まず①合同の体験活動の回数は、基本が学期に2回と、それに加えて年に1回、本格的な体験活動を行います。本格的な体験活動は、日数が最も長い2学期中に行うことを基本とします。

次に②ボランティアの依頼先ですが、必ずしもそこに記載の団体の中から選ぶというものではありませんが、参考として、社会福祉協議会ボランティアセンターを含め4団体を記載してあります。それ以外に、今年度も活用していただいています。他の学校の講師活用一覧も配布しています。資料4をご覧ください。

講師の活用については、各学校の講師活用一覧を、毎年、蓄積していくことや講師との打ち合わせの中で、来年度につながるように話をすすめることが大事です。また、他の学校でも依頼があつたら引き受けてもらうことは可能か、同じ講師謝礼で引き受けてもらえるか、何人までなら可能か、などを話しておくとながら、広がっていくと思います。みんなの共有財産として活用していきたいと思っています。

次に③参加児童ですが、合同の体験活動は基本的に放課後子ども教室の活動をベースに実施するため、放課後子ども教室の登録児童は全員参加対象とし、児童クラブから参加する児童は活動内容、活動場所に応じてその都度決めることとします。なお、学校によって放課後子ども教室の対象学年が異なりますが、基本は児童クラブから参加する児童の学年も、公平性の観点からその学校の放課後子ども教室の対象学年に合わせることとします。

8ページをお願いします。

上段の表で、例えばA小学校が放課後子ども教室を1年生から3年生を対象に実施しているなら、合同の体験活動に参加する児童クラブも1年生から3年生までを対象にします。

その場合でも、参加児童が多くなり過ぎる場合は、例えば1学期の1回目の合同の体験活動では3年生、2回目は2年生を対象にするなど限定し、広い場所で行う2学期の本格的な活動では全学年を対象にすることも考えられます。基本的には、活動内容や場所を踏まえて、年間でバランスを取っていく考え方とします。

次に④従事者ですが、普段の放課後子ども教室従事者に加えて、児童クラブから数名の職員が引率・児童対応に従事します。活動の都度、学校地域コーディネーターと児童クラブ所長が相談して決めることとします。が、先ほどの提言をふまえて書き換えていく予定です。

次に⑤活動場所の借用ですが、学校に対してその都度場所を借用します。令和5年度から新たに実施する4校につきましては、既に事務局から依頼させていただいております。

次に⑥合同の体験活動に係る費用ですが、消耗品費は、1校あたり、最大で18,000円です。放課後子ども教室の児童も児童クラブ登録児童も、通常の合同活動では1回2,000円、本格的な活動分として6,000円という予算から購入します。

9ページをお願いします。

講師謝礼のうち、年1回の本格的な活動分は30,000円を上限とし、その他の活動は1回3,000

円または、5,000 円とします。

協力謝礼として、合同の体験活動を行うため、道具を借りて実施する場合の謝礼を 1 回 3,000 円とすることを検討中です。前回の会議で、講師の方は来れないが、道具を借りれば、実施できるという話があったと思います。今、検討中です。

本格的な、講師謝礼について 3 万円までですが、講師との打ち合わせの中で、たまたま、15000 円となり、もし可能であれば、もう 1 回やってもいいですかというお話を聞いております。事務局のほうとしても検討しています。活用できる方向で考えていきたいなとは考えております。

⑦費用徴収、⑧活動時の保険等につきましては、特に変更等はありませんので、説明を省略させていただきます。

【副島委員長】

実施学校が増えると、予算としては自動的に増えてくると思いますが、その中で、使いやすいように、今検討しているという報告がありました。

今年度の実施もふまえて、来年度について、何か御意見などがあったら、ぜひここを出していただきたいなと思いますが、いかがでしょうか。

今年、実施校が増えたことで、少しずつジャンルが増えてきたなと感じます。それは、こういうことをやるんだよねと、アンテナを高くしていただいたり、知り合いの方にお話をさせていただいたりして、広がっていったと思います。

【副島委員長】

来年初めての学校はこれを参考にしながら、評判よかったことを参考にして、始めると、何をやったらいいのか、どうしたらいいのかという不安ばかりではなく、「こういうふうに来てきたからいけますよ」という感じで持っていきたいなあとと思います。御質問や、どんなお話でも結構ですので、ぜひ、出していただけないかなあとと思います。

【森委員】

小牧原小のバルーンアートを見ました。子供が好きなキャラクターなどをたくさん作っていただいて、みんなすごく盛り上がっていたんですが、あのパフォーマンスを見る時間が長過ぎたなと思いました。退屈そうにしている子がいたなと思いました。

やはり、作品をもらう子ともらわない子の差があり過ぎて、途中で怒ってしまう子もいて、ざわざわした時間があったので、もう少しみんな平等に同じ大きさのものをあげるといいんじゃないかなと思いました。

作成するときに、ちょっと難しくて、出来なくてぼうっとしてる子がいたので、もう少し指導員さんの人数が多いといいなと思いました。

【中島委員】

私も光ヶ丘小の切り絵を見ました。入ってすぐに思ったのが、すごく指導員さんがたくさんいるんだなあとということです。1 テーブルに 4 人ぐらい座っていて、そのテーブルごとに指導員さんが入り、すごくみてもらえるんだなと思いました。アンケートに指導員さんが、「騒がしかった」という意見を、書いてみえましたが、私は、低学年の子がやってたので、騒がしかったというより、「見て見てこれ見て」という感じで、すごく楽しそうに感じました。「これは、こうやって切ったんだよ」「こんなふうになったんだよ」とか騒がしかったというより、すごく楽しくて、興奮状態だったという子が多かったように、感じました。

時間割の関係で、高学年の子は参加出来ないと聞きましたが、切り絵とかだと、高学年の子がいることによって、お姉さんやお兄さんからのアドバイスがもらえたりとかするので、難しいかもしれないですけど、高学年も参加できるといいなと思いました。

【副島委員長】

先ほども、学校の授業ではないからねという話が出ていましたが、ずっとお利口さんにして参加するということを大前提にしなくても、いいのかなというような御意見ですね。

【味岡児童館 館長 野地委員】

今日の話をお聞きして、皆さんすごく、児童クラブと、放課後子ども教室との合同というところで、大変な思いをしながら、子どもたちのためにやっていただいているということは、私は意味のあることだと思って聞いていました。

味岡小学校の忍者ランドを見せていただきました。何種類かある中で、何をやって、何をやらないか決めるのは自分たちで決めていいとか、何回やるかまた、やらないということも自分たちで決めていいというように、自分で選択ができるという形でした。その場には参加はするけれど、自分で選択ができるということが、とてもいいなと思いながら見せていただいております。

楽しんでいる子たちはみんなすごく生き生きしていて、ちょっと、運動とか苦手なんだろうなという子は、その場から少し消えるような姿も見えたりしました。でも、最初からオーケーというふうに講師の方が言ってみえたので、なかなか運動する機会がない中での、いい機会であったと同時に、その学校の事情もあって、低学年の子だけになってしまったのは少し残念に思いました。

さきほど人生が変わるかもって話がありましたけれども、やはり、様々な機会に子どもたちが、いろんな体験をしておくということは大事だと思うので、幅広い年齢の子が参加できることが望ましいなと思って聞いておりました。

講師の方を探してくるのも、とても大変なことだと思いますが、工作をすることを多くの子どもが望んでいるというアンケート結果が出てきたり、運動のプログラムを希望したいというところに関しても、児童館としても協力できることがあるんじゃないかなと思いました。どこの児童館も、工作等をやっていますし、運動のプログラムも、少しノウハウを持っている児童館がたくさんありますので、児童館とつながるのも、少し視点が変わってきていいのではないかなと思いました。

【副島委員長】

委員に児童館から入っていただいているのもそういう意味がありますので、またよろしく願いします。

【小牧小 岩瀬校長】

昨年、一昨年の頃と比べると、この資料を見ても、すごくたくさんの講師、いろんな講座で行われていて、以前は、本当にどういう活動に対して、どういう講師さんがいいかと、すごく苦労してみえたような気がします。そういう点では、もう今は、いろいろと選択肢があって、とてもいいことだなと思います。

私は、今回ことごとく、出張と重なって、どこの学校も見られなくて残念なんです。やっぱり直接見ると、この上の資料だけではない雰囲気だとかいろんなことが分かると思います。そういう機会を、忙しい中だとは思いますが、機会をつくって、お互いに見合えるような環境があると、より良いのかなと思いました。

【副島委員長】

ありがとうございました。では、ここまででよろしいですね。司会は事務局にお返しします。

【事務局】

様々な御意見ありがとうございました。

それでは次第の3その他に移らせていただきます。今回は、5年2月15日水曜日、午前10時から市役所で開催をさせていただきます。会場につきましては、また決まりましたら御連絡をさせていただきますと思っています。お忙しい中だと思いますが御予定をよろしくお願いいたします。これをもちまして、令和4年度第2回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。